

性暴力対策会議性暴力対策アドバイザー派遣制度に関する専門委員会 実施状況

○令和3年度第1回性暴力対策アドバイザー派遣制度に関する専門委員会

開催日:令和4年3月23日(水)

	議題	協議内容	当課のその後の対応
議題1	専門委員会の運営について	専門委員会の運営について協議	—
議題2	アドバイザー派遣先行実施の結果と今後の課題について	別添2-2に基づき協議	継続協議
議題3	令和4年度アドバイザー派遣制度の実施について	令和4年度におけるアドバイザー派遣事業の実施計画等について協議	計画どおり実施

○令和4年度第1回性暴力対策アドバイザー派遣制度に関する専門委員会

開催日:令和4年8月9日(火)

	議題	協議内容	当課のその後の対応
議題1	アドバイザー派遣事業の事前打合せに係る今後の対応方針について	現在アドバイザーが各学校で対面で行っている事前打合せについて、令和5年度から生活安全課職員によるオンライン事前説明会方式に変更するため、説明用動画や事前点検項目について協議	・説明用動画について作成着手 ・その他継続協議
議題2	効果検証のためのアンケートの実施について	子どもの理解度等を抽出調査するためのアンケートの内容等について協議	継続協議
議題3	学校が実施するアンケート及び留意事項について	学校が独自で実施するアンケートの様式及び実施の際の留意点について協議	継続協議

	議題	協議内容	当課のその後の対応
議題4	テキストの一部見直しについて	県児童家庭課の要望（「福岡県子どもへの虐待を防止し、権利を擁護する条例」に基づく啓発事業）を受けた小学校高学年及び中学校の講義テキストのナレーションの一部変更について協議	計画どおり実施

○令和4年度第2回性暴力対策アドバイザー派遣制度に関する専門委員会

開催日:令和4年11月16日(水)

	議題	協議内容	当課のその後の対応
議題1	派遣事業に係る事前打合せの今後の対応方針について	第1回専門委員会の意見を踏まえ、対応方針や事前点検項目等について協議	実施校に性暴力当事者がいる、落ち着いて学習する雰囲気乏しいなど、アドバイザーが必要と認めた学校については、オンラインによる事前打合せ後に学校とアドバイザーが直接打合せを実施する等、より丁寧に対応する。(令和5年1月から先行実施)
議題2	アンケートの実施方針について	第1回専門委員会の意見を踏まえ、アンケートの実施方針や内容等について協議	・効果検証のアンケートについては、計画どおり12月から実施 ・学校独自のアンケートについては、留意事項等を「性暴力対策アドバイザー派遣制度（学校への派遣）実施要項」に追記の上同月通知

	議題	協議内容	結果
議題3	性暴力対策アドバイザーの役割について	性暴力対策アドバイザーの役割及び学校で性暴力事案が発生した場合の初期対応方針について協議。	<ul style="list-style-type: none"> ・協議に係る役割について「性暴力対策アドバイザー派遣制度（学校への派遣）実施要項」に追記 ・同内容をアドバイザーに対し周知 ・学校における性暴力事案が発生した場合のマニュアルについては、来年度以降の作成を予定
	その他意見	アドバイザーの資質向上のため、スキルアップ研修等、研鑽の仕組みが必要	・アドバイザーのスキルアップ研修及び意見交換会を実施予定

(参考) 性暴力対策アドバイザー派遣制度に関する専門委員会委員 名簿

分野等	所属・役職	氏名
学識経験者 (臨床心理学)	九州産業大学 特任研究員	くぼた ゆき 窪田 由紀 (委員長)
心理専門職	一般社団法人福岡県臨床心理士会 副会長	くせ だいすけ 久世 大介
犯罪被害者等支援団体	公益社団法人福岡犯罪被害者支援センター 理事長	うら ひさこ 浦 尚子 (委員長職務代理者)
福岡県	人づくり・県民生活部男女共同参画推進課 課長補佐	まつむら えいじ 松村 英司
福岡県教育委員会	教育振興部高校教育課 指導主事	まつもと くにあき 松本 邦明
福岡県教育委員会	教育振興部義務教育課 指導主事	さかい まき 坂井 麻紀
福岡県教育委員会	教育振興部特別支援教育課 指導主事	くぼ たかし 久保 卓史
北九州市教育委員会	学校教育部生徒指導・教育相談課 指導主事	うらはし かずまさ 浦橋 一将
福岡市教育委員会	指導部中学校教育課 指導主事	くろまつ たくま 黒松 琢磨

今後の検討課題の整理

1 学校における理解促進について

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校によっては、本事業を被害に遭わないための防犯教育や妊娠・避妊などを扱う性教育と捉えている場合がある。本事業の目的や内容について、学校や関係機関（校長会、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等）の理解を深める必要がある。
対応案	<ul style="list-style-type: none"> ○事業周知のための動画の作成・配信 R4 年度に本事業の説明用動画を作成し、実施校や関係機関への周知啓発に取り組む。 【動画内容（案）】 本事業の趣旨、授業のねらい、配慮が必要な児童生徒がいる場合の対応、学校内での情報共有、授業前の児童生徒や保護者への授業の趣旨及び概要の説明、被害や加害についての相談先等 ○関係機関の各種会議での周知 校長会、教職員やスクールカウンセラーの研修会等の機会を捉え、本事業の内容や上記動画を周知してはどうか。

2 授業後の対応について

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・被害や加害の開示があった場合に、被害にあった児童生徒の心とからだのケアや二次被害の防止、問題行動を起こす児童生徒への対応等について検討する必要がある。
対応案	<ul style="list-style-type: none"> ○対応マニュアルの整備 資料7「性暴力対策アドバイザー派遣制度（学校への派遣）実施要項」9、10ページの「個別対応が必要な児童生徒への対応について」を基に、学校で性暴力が起こった場合の対応について、初期対応、学校での情報共有体制の整備、関係機関（相談先）一覧などをまとめたマニュアルを整備してはどうか。 ○児童生徒へのアンケート 学校において授業後のアンケートを行う場合には、児童生徒の安心や安全が守られるよう、アンケートの内容や取扱いで配慮すべきことを検討してはどうか。

3 教育内容、教材について

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・先行実施校での児童生徒のアンケートでは、概ね肯定的な評価がなされた一方で、「境界線がよくわからなかった」、「男性の被害の事例を出してほしかった」といった意見があった。 ・先行実施に係るアドバイザーや教員からは、「小学生から SNS 被害を取り上げるべき」、「被害事例としてデート DV や男性の被害もあればよい」といった意見があった。 ・特別支援学校や児童養護施設など、特別な配慮が必要な場合の教育内容や教材について、検討する必要がある。 								
対応案	<p>○アンケート結果やアドバイザーからの意見を踏まえ、各校種における教育内容について次のとおり追加や改訂を検討してはどうか。</p> <table border="1" data-bbox="395 768 1291 1061"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 768 552 817">校種</th> <th data-bbox="552 768 1291 817">検討案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 817 552 913">小学校 高学年</td> <td data-bbox="552 817 1291 913"> <ul style="list-style-type: none"> ・境界線に係るスライドやナレーションの改訂 ・SNS を利用した性暴力についての説明を追加 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 913 552 1010">中学校</td> <td data-bbox="552 913 1291 1010"> <ul style="list-style-type: none"> ・男性被害について事例の追加やナレーションの改訂 ・デート DV による性暴力事例の追加 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1010 552 1061">高等学校</td> <td data-bbox="552 1010 1291 1061"> <ul style="list-style-type: none"> ・デート DV による性暴力事例の追加 </td> </tr> </tbody> </table> <p>○特別支援学校等における教育内容については、現在の各校種のテキストを基に、授業構成の標準例の作成、言葉だけでなく身振りを入れるといったわかりやすい教え方などについて検討してはどうか。</p>	校種	検討案	小学校 高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・境界線に係るスライドやナレーションの改訂 ・SNS を利用した性暴力についての説明を追加 	中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・男性被害について事例の追加やナレーションの改訂 ・デート DV による性暴力事例の追加 	高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・デート DV による性暴力事例の追加
校種	検討案								
小学校 高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・境界線に係るスライドやナレーションの改訂 ・SNS を利用した性暴力についての説明を追加 								
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・男性被害について事例の追加やナレーションの改訂 ・デート DV による性暴力事例の追加 								
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・デート DV による性暴力事例の追加 								

4 アドバイザーの養成・育成について

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーは、養成講座を受講し、到達テストに合格した者のうち、希望する者に委嘱している。アドバイザーのスキルアップのための継続的な研修や、安心して活動するための支援体制を整える必要がある。
対応案	<p>○養成講座について、新人アドバイザー向け講座、スキルアップ講座など、体系的なカリキュラムを検討してはどうか。</p> <p>○アドバイザー同士のネットワーク強化に係る交流会の実施、スーパーバイザーの設置などを検討してはどうか。</p>